

「作品に使うケース（引き出し）を選ぼう」（本時6 / 25）

①本時の目標

- 市販のケースの中から、自分の製作品に合ったものを選択できる。
- ケースに合わせた寸法をアイディアスケッチに記入することができる。

②指導過程

| 段階 | 学 習 活 動 | 教 師 の 支 援 ・ 評 価 |
|-------------|--|---|
| つかむ 5分 | 1 作品例を見て、問題点を見つける。 ＜予想される発表＞ ・引き出しが小さ過ぎて、ケースが奥まで入るから使いにくい。 ・引き出しが寸法どおりだけど、取っ手がないから使いにくい。 | ・幾つかの作品を用意し、問題点を見つけやすいようにする。 ・引き出しの部分に着目させる。 ・作品例に対し、小さい引き出しと寸法どおりの引き出しを用意する。 |
| 見通す 5分 | 2 製作品に使うケースの条件を考える。 ＜予想される発表＞ ・製作品に入れるものとケースとのバランスを考える。 ・中に入れるものからケースの大きさを考える。 ・取っ手が付けられる素材がよい。 | ・引き出しを選ぶ条件（中に入れるもの、使いやすさ）を押さえる。 |
| 確かめる 25分 | 3 製作品に使うケースを、12種類の中から選ぶ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">作品に使うケース（引き出し）を選び、アイディアスケッチを修正する</div> ＜予想される発表＞ ・製作品の内側のサイズ（内寸）に近いものにしよう。 ・幅の広いケースより、狭いケースを2つ入れるようにしよう。 ・ケースの左右にすきまをつくって、出し入れしやすいうようにしよう。 ・引き出し部分の高さは変えても、他の部分には影響が少ないぞ。 ・奥行きを変えると製作品が使いにくくなるから気をつけよう。 4 ケースの大きさに合わせ、製作品のアイディアスケッチを修正する。 | ・引き出し部分を修正することにより、全体の高さとお行きも合わせて修正することに気付かせる。 ・引き出しとして使えるようなケースを用意し、実際に見たり触ったりして選べるようにする。 ・前時にかいたアイディアスケッチを基に考えさせる。 ・引き出し用のレールやストッパーを紹介し、参考にさせる。 ・選んだ理由をワークシートに記入させる。 ☆製作品のアイディアスケッチを修正し、寸法を記入することができたか。 （ワークシート）【技】 |
| 生かす 15分 | 5 選んだケースと修正したアイディアスケッチについて、グループで話し合う。 6 次時の学習内容を知る。 | ・アイディアスケッチを提示しながら発表する。 ・授業の振り返りをさせる。 |

③評価

- ・既成のケースの中から、自分の製作品に合ったものを選択できたか話し合いの様子やワークシートの内容から判断する。
- ・ケースに合わせた寸法をアイディアスケッチに記入することができたか、ワークシートから判断する。